

## 令和7年度 有緝こども園

### 《教育・保育方針（目指す子ども園の姿）》

- ・子どもの発達特性を理解し、適切な援助を行う
- ・適切な環境づくりをし、養護と教育を一体的に行う
- ・保護者・地域と連携し、協力して子育てに取り組む

### 《教育・保育目標（目指す子どもの姿）》

さまざまな体験を通して、心豊かで、たくましい子どもの育成

- ・健康で明るくたくましい子
- ・思いやりのある優しい子
- ・よく遊び友だちをたくさんつくる子
- ・感性豊かな子
- ・挨拶ができる子

"

### 《「にこにこ どんどん 思いやり」 ～風通しの良い、働きやすい職場に～ 》

#### 【にこにこ】

- ①明るい笑顔で、保護者対応しましょう。
- ②挨拶は、元気にしていきましょう。
- ③来客の対応・電話の対応も、明るく丁寧にしましょう。
- ④子どもにも笑顔で接し、園児との活動は自分も楽しそうにしていきましょう。

#### 【どんどん】

- ①仕事は積極的に、そして新しいことにはどんどんチャレンジをしていきましょう。  
独りよがりですぐ勝手にやるのではなくチームワークを大切にするため、何事も相談をしましょう。（本園は、チームワークを大事にしています）
- ②安全面、清潔面には、気が付いたら行動しましょう。（自分で対応する、職員室に連絡するなど）
- ③自分で自分を高めていける（学び続けていける、他人を見て良さを見習っていく）ように意識していきましょう。

#### 【思いやり】

- ①同じ職場で働く仲間を大事にしていましょう。孤立者を作らないよう言葉がけはあたたかく、そしてこまめに。
- ②年齢の上下・職種の違いにかかわらず、相手を敬う気持ちで言葉を交わしていましょう。
- ③気になる点や改善してほしい点は、相手に知らせていましょう。

#### 【保護者対応】

- ①連絡は、「迅速に」「なるべく日をまたがない」「欠席が3日になったら電話で様子伺いを」
- ②迷ったときは、誰かに相談を。独断で判断しないように。
- ③悪い情報ほど早く、副園長や園長に知らせてください。

## 令和7年度 有緝こども園職員による自己評価

職員の自己評価、及び意見や感想をまとめたものです。

A:そう思う      B:まあそう      C:あまりそう思わない      D:そう思わない

回答数 31名

(数字は人数：回答していない項目もあるため、合計数は一致しない場合があります。)

(1)	教育・保育内容について	A	B	C	D
1	園の方針と実際の教育・保育内容の整合性が取れている	23	6	0	0
2	子どもの主体的な活動ができるよう活動内容に配慮している	20	9	0	0
3	身近な自然(生き物・植物等)に触れることができるよう工夫している	16	12	0	0
4	様々な年齢の子ども同士が、関わり合いながら生活や遊びを行っている	10	16	2	0

### 【意見・感想など】

- ・子どもの主体的な活動や保育教諭の言葉がけなど意識をして行うようにしている。
- ・子どもたちの様子に合わせて、自分で考えて行動できるように工夫している。子どもたちの良さに気づけるようにしていきたい。
- ・子どもの様子や興味に応じて活動内容を組み立てていたり、子どもたちから出た「こんなことがしたい」の思いや発言を形にできるよう時間を保障したり場を整えていたりした。
- ・「2」については安全であることはもちろん、選択できる教材や活動を用意し、子どもたちが自ら考えて行動できるような環境作りに取り組むよう心掛けている。
  
- ・以上児と未満児の交流する機会があるといいなと思う。
- ・年長児と未満児の関わりはあるが、基本的に以上児と未満児との生活リズムの違いは難しい事があると思います。
- ・未満児間、以上児間の関わりがあるが、未満児と以上児の交流ができると良いなと思います。
- ・活動時間や行事等の関係で難しい所もあるが、未満児と以上児の交流機会が作れると良いなと思います。サマースクールを園全体の交流会など、どこかで一緒に関わる機会があると良いなと思いました。
  
- ・テラスに落ちている枯れ葉を夢中で集めたり踏んで音を楽しんだりする姿を見て日常の中で自然を味わう姿が素敵だなと感じました。
- ・2階テラスに今年はおイモを植えました。上手く実がついて未満児もイモほりを少し体験して実際に芋のつるや実を触ってみることが出来ました。子ども達も興味を持っていたので来年も出来たらいいなと思います。
- ・園庭の水やりやテラスでのさつまいも掘りで子ども達の楽しむ姿が見られた。

- ・未満児も園の花壇でお芋掘りが出来て良かった。
- ・園庭での虫さがしや珍しい植物に触れることができるよう心がけている。
- ・テラスにさつまいもの苗を植え、芋が掘れたところを子どもたちが見たり触ったりでき良かったと思う。
- ・テラスでは、生き物や植物に触れる機会が少なかったがプランターの花や落ち葉、まつぼっくりなど子ども達と一緒に触れることができるように心がけた。

#### 【園としての考え】

今後も子どもたちが主体的に活動に取り組んでいけるようにしていきたい。そのために、子どもたちの興味関心、活動に対する考えを把握し活動につなげていく。また、子どもたちが身近な自然に触れられるように花壇を整備したり虫取りができる場を作ったりしていく。

異年齢交流については、未満児と以上児の園での生活時間を考えると難しい面がある。未満児内、以上児内で交流ができるように考えていきたい。遊びの時間に、テラスや園庭、保育室で少しの時間でも気軽に異年齢で遊ぶ機会を作っていく。

(2)	園の環境（内外）について	A	B	C	D
1	子どもが自発的に生活と遊びができる環境が整備されている	23	5	0	0
2	各年齢に応じた玩具が準備してあり、整理整頓されている	14	14	1	0
3	園庭の遊具は、使用する場合の安全配慮がされている	23	7	0	0
4	花壇を有効に活用し、必要な手入れがなされている	11	17	0	0

#### 【意見・感想など】

- ・各部屋は、こどもたちが自ら準備、片付けができるよう工夫されていると思います。
- ・子ども達一人一人の姿、成長を見守りクラスで共通に話す事で、同じ気持ちで、今必要なその子に対しての遊びができたと思う。
- ・未満児の2階廊下に置いてある玩具は種類も多く、子どもも色んな玩具で遊べることが出来ます。
- ・毎年、玩具が少しずつ増えて、色々な遊びが広がっていくと良いなと思う。
- ・各年齢に応じた玩具はあるが、人気なものは集中することがある。同じものがいくつあっても良いと思う。
- ・「4」の花壇の活用については、今年はおいもの苗を植えて成長の観察を行った。おいもほりに参加できなかった子には、園庭のお芋を掘って楽しむことができた。同様に2階のテラスにもお芋を植えて2才児さんがお芋掘りを体験できたことは良かったので続けていきたいと思う。
- ・定期的な花壇の手入れがされていた。
- ・花壇やプランターに野菜や花などを植えたが、夏野菜は子どもたちで水をやったり、野菜の生長を見たりするのが、戸外の暑さのため難しかった。収穫も難しかったように思う。その他では、生長を見たり、自分たちで水をやったりなど嬉しそうにする姿があった。

・野菜を育てて給食で出してもらえると、子どもたちの楽しみも増えるが、今年の夏は暑くて育てるのが難しかった。季節や育てる作物を考えたいと思う。

・子どもたちと花を植えると、水やりや草ぬきなど、自主的にする子がいたり、生長を楽しみにする様子がみられたりした。また、植えるだけでなく、その後も遊びの中で、その花を使って楽しむ様子があった。

・テラスのプランターに季節の花を植えて子ども達と一緒に水やりをしたり、今年度は芋の苗を植えたりして収穫するなど有効に活用することができた。

・園庭の花壇や2階のテラスに芋の苗を植えたことで、畑に芋掘りに行けない未満児の子どもたちも収穫の喜びや行事を楽しむことができてよかった。

・遊具に異常が見られた際に、すぐ気が付き使用不可の判断が出来ていた。

・テラスでのすべり台で遊ぶ際には必ず先生が1人ついて安全配慮がされていると思います。

・毎朝、園庭の遊具の安全点検を行うことで、安心して使用できていると思います。

#### 【園としての考え】

子どもたちが自発的に遊ぶ機会や場をたくさん提供できるようにしていく。

園庭で遊ぶ場合には、今後も複数の職員で分担を決めて子どもたちを見守っていくようする。

猛暑の中、夏野菜が育てにくくなってきている。子どもたちが世話をして生長を観察し収穫できるものを育てていくようにする。園庭や2階のテラスでの芋苗植えは今年よかったので、今後はより多く計画的に植え、未満児が収穫の喜びが感じられるようにしていく。

子どもたちが虫取りや生き物に触れる環境を更に整えていく。

玩具や絵本は、新しいものを計画的にいれていくようにする。

(3)	行事について	A	B	C	D
1	行事の種類や内容は適切である	21	11	1	0
2	行事は一人ひとりの子どもが楽しく参加できる内容になるよう配慮されている	17	8	0	0
3	行事の練習は、無理せずその子の状態に合わせて参加できるよう配慮している	22	6	0	0
4	行事は前年度踏襲ではなく、反省を通じて改善している	21	7	1	0

#### 【意見・感想など】

・誕生会などでは、今のその子の姿を見てもらう事に重点をおいて、名前が言えない子には、名前を読んであげて「ハイ」と手をあげる返事なども成長を感じてもらえるように思った。

・無理なく、楽しく取り組めるよう、日々の活動内容を工夫していくことを心掛けた。

・運動会、作品展、カーニバルと大きな行事が連続していくため、ゆっくり遊びこむ時間の確保が難しく感じた。

・いせトピアの予約によるので仕方ないが、カーニバルの日が早すぎて準備が今回とても忙しかった。

・作品展やカーニバルなど大きな行事では準備物が多く、勤務時間でやりこなしていくのは難しかった。

・行事前、普段の活動等、子ども達の様子に合わせて無理のないように心がけ、子どもたちのやる気を

引き出せるよう工夫している。

- ・毎年反省点を生かし、次につなげていけるようにしている。
- ・行事の練習は子どもの発達段階や集中力に合わせて無理なく取り組んでいる。運動会の練習の時期は特に気を付けて、室内での練習を増やし体調に気を配るようにしている。行事について反省を通じて、必要であると思う事は残し、柔軟に取り組んでいる。
- ・職員会議を通して、前年の行事の反省を話し合い、良い方向へむけての改善ができています。
- ・行事は子どもの成長している姿を保護者の方が見れる機会で、子どもも楽しく意欲的に参加している姿が見られるので大切にしていきたいです。
- ・行事の練習については、参加するのが難しい子どもがいるなかその日の状態を把握し先生方が声掛けして無理のないようにすごく配慮されていると感じます。
- ・先生方のきめ細やかな関わりを拝見しております。子ども達がどの行事も楽しく参加する姿を見せて頂いているので特に意見はございません。
- ・行事のおけいこは、子どもたちの無理のないように進めることを心掛けた。子どもたちも前向きに参加してくれた。

#### 【園としての考え】

各行事については、今後も前年度踏襲にならないように反省をして改善を行っていく。カーニバルについては、土曜日開催が一番いいと考える。しかし、いせトピアの抽選によるので希望の日が取れないこともある。練習期間などを考えて最適な日が設定できるように考えていく。子どもたちが主体的に意欲的に取り組める行事を考えていきたい。一人ひとりの子どもが、自己実現できるようにしていく。練習の過程を大事にして一人ひとりの成長を見守っていきたい。

(4) 衛生管理について	A	B	C	D
1 玩具・教具など、適切に消毒・保管している	22	9	0	0
2 日々の健康観察を適切に行い、一人ひとりの体調に合わせた教育・保育を行っている	26	7	0	0
3 体調が悪い子どもは適切に（他の子と離す、保護者への迅速な連絡等）対処している	23	8	0	0
4 園内（保育室や共用部分）の清掃は適切になされている	29	2	0	0
5 廃棄物（汚物や鼻水処理に関するものも含め）の処理は適切に行っている	27	4	0	0

#### 【意見・感想など】

- ・玩具の消毒は毎回きちんと行っている。劣化している物や故障した物がないかも確認して、子どもが安全に使える様にしている。
- ・食事やおやつの前に体温を定期的に測り、体調の変化がないか気をつけている。また、玩具の消毒は継続して行うようにしている。
- ・日々の検温が習慣化され、小さな体調の変化に早めに気づくことができています。

・給食、おやつの前の検温は継続して行っており、子どもの体調の変化に早めに気づくことができているように思う。

・インフルエンザがとても流行ったが、より体調の変化に気にかけて過ごすことができたと思う。

・体調が悪そうな子どもは、何度も熱を測り丁寧に様子を見て、保護者に連絡している。

・子どもの様子が少しでもいつもと違うと検温を多めにして保護者の方に連絡するようにしています。

・「体調が悪い、いつもと様子がちがう、どこかで打った」など、保護者に連絡して相談し、お迎えに来てもらったりしている。

・熱の子はお迎えが来るまでベッドで横になり体を休めるようにしている。

・体調がすぐれない園児への対応、すごく細かく気にかけていただいているように思います。

・体調の変化にすぐ気づけるように心掛け、兄弟が欠席しているときは職員同士で共有するようにした。

・子どもの健康観察や換気や水分補給の言葉がけをして常に気を配っている。また、毎日、園内のトイレや階段、玄関などそうじして下さる職員の方々のおかげで園内が清潔に保たれているので感謝しています。

#### 【園としての考え】

子どもの健康観察については、気を付けてこまめにみる事ができている。体調面での保護者との情報共有もよくできている。玩具の消毒など日々衛生面に気を付けている。今後も引き続き衛生面に気を付けていく。

(5)	危機管理について	A	B	C	D
1	危機管理体制（災害対応・不審者対応・セキュリティ・緊急連絡先掲示）がしっかりできている。	22	9	0	0
2	安全点検は適切に行われている	26	7	0	0
3	ヒヤリハットの報告や、その内容の情報共有は適切に行っている	23	8	0	0
4	避難訓練は定期的・計画的に実施している	29	2	0	0
5	危険箇所（可能性のある場所）を発見した場合、迅速に対応している	27	3	1	0

#### 【意見・感想など】

・定期的に避難訓練を行っているため、今年の夏休み津波警報が出た時、子どもたちも担任の指示を落ち着いて聞いてくれた。

・定期的な避難訓練は、子どもたちの安心と職員の自信につながると実感しています。

・避難訓練は、初めは泣いてしまう子も多いが、回数を重ねる内に、未満児の子どもも少しずつ慣れて泣く子も少なくなって、スムーズに避難出来る様になってきた。

・避難グッズの置き場所を変えた時など情報の共有が随時出来ていた。

・毎月 パターンを変えて訓練をしている。（各保育室、未満児と以上児で別にする時もある）

・避難訓練後は、その都度反省や気づいた事を確認している。

・避難訓練を定期的実施してきたことで、スムーズに避難することができるようになったと思う。災害は、突然起こることもあり、様々な時間で避難訓練をしても良いのではないかと思った。

・園内で気になる所や修理が必要な個所について報告すると、すぐに修理、対応していただき安全に過ごすことができている。

・2階テラスに劣化個所が見られるが、日々の保育に追われてなかなか補修できないでいます。

・ヒヤリハットの報告はすぐに行ない、危険なこと（同じような）が起こらないように緊張感をもって対応している。

#### 【園としての考え】

毎月避難訓練を行うことで、子どもたちも要領よく素早く避難することができるようになってきた。今後も様々なパターンの避難訓練を続けていきたい。また、様々な時間に行うことも検討していきたい。

ヒヤリハットについては、先生方から口頭で報告のあったものは、記録にして残している。今後大きな事故につながらないように活かしていきたい。

安全点検については、毎月きちんとできている。園庭の遊具の点検を毎日行うようにしている。今後も子どもたちの安心安全な環境が確保されるようにしていく。園全体として、子どもたちの安全な環境を整えていこうとする意識が高く、今後も継続していく。

(6)	保護者対応について	A	B	C	D
1	保護者に連絡事項を分かりやすい言葉で伝えている	26	5	0	0
2	保護者に親しみやすい態度・表情で接し、相談がしやすいように心がけている	26	5	0	0
3	どの保護者にも、偏りが無いような対応に心掛けている	27	4	0	0
4	園と保護者が、協力して子どもに向き合えるように心掛けている	24	6	0	0

#### 【意見・感想など】

・連絡帳を通して保護者とやりとりするだけでなく、送迎時に直接話をする事で信頼関係が築けるよう心がけている。

・お迎えに来てもらったら、その日の子どもの様子を伝えるようにしています。

・どの保護者にも笑顔で挨拶し、話しかけるようにしている。また、質問があった時等は早急に相談し対応するようにしている。

・園での様子を少しでも伝えられるように心掛けている。

・担任の先生方は保護者の方と関わりを大切にしている、話しやすい雰囲気を作っている。

・日々の送迎時の挨拶や声掛けを大切に、保護者の方が安心して預けられる信頼関係の構築を目指します。

### 【園としての考え】

送迎時に園での様子を伝え、保護者との良い関係が作れるように努めている。お休みが続いた子どもには、連絡をして様子をきくようにしている。子どもの課題となることを伝えるときには、事実をきちんと伝え保護者といっしょに子どものことを考えるようにしている。今後も日頃から何でも話し合える関係を保護者と築いていきたい。

(7)	子どもへの対応について	A	B	C	D
1	子どもの気持ちを受け止め、温かく応答的に接している	25	4	0	0
2	子どもの一人ひとりの、良さや可能性を大事にしている	28	1	0	0
3	年齢に応じて子どもへの援助は適度にし、自分で考え行動するよう配慮している	22	7	0	0
4	個別支援の必要な子どもへの職員支援体制がとれている	15	13	0	1

### 【意見・感想など】

- ・子どもたちが安心してこども園に来られるよう、良いところや頑張っているところをたくさん見つけ、たくさん褒めていきたい。
- ・子どもの気持ちに寄り添い温かく受けとめることで安心感につながると感じています。みんなが笑顔で心穏やかに過ごせる環境を支えていきたいです。
- ・子どもによって成長の差や個人差があるが、それぞれの発達段階を知り、無理のない様に配慮して活動を行っている。
- ・子どもの発達段階に応じて、丁寧に言葉をかけ援助している。身のまわりの事は自分でできるように励まし、色々な活動に対してその子のやる気を引き出すように努めている。また、子どもが「できた」と自信が持てるように成功体験を増やし、うまくできなかった場合でも次がんばろうと思えるような気持ちになれるようにあたたかく支えていく事を心掛けている。
- ・子どもが頑張ったところや出来たことをたくさんほめて一人ひとりとしっかり関わり、大切にできるようにしているがより気を付けていきたい。
  
- ・担任間でいつも十分に話し合える事が出来ていて、とても日々感謝しています。そのおかげで、他の先生の子どもの対応をみて、学ばせてもらい、みんなが同じ気持ちで保育をしている事がすごく感じ心地よく一人一人への対応ができてるように思います。
- ・子ども一人ひとりの気持ちをできるだけ受けとめ、個に応じた対応や援助ができるよう心がけている。
- ・子ども一人ひとりの良さや良いところに目を向け、温かく関わっていくことを意識していったが今後も努力していきたい。
- ・子どもの思いに共感したり自分でできたことを褒めたりして気持ちに寄り添うよう心掛けている。
- ・あたたかく子どもたちの気持ちを受けとめられるよう余裕を持つようにしている。
  
- ・支援の必要なお子さんには、きちんと職員をつけているが、お子さんの状態によってはもう少し支援が必要な場合もあると感じている。
- ・個別支援が必要な子の対応は常に職員で話し合いどの様に支援するか考えながら保育している。

### 【園としての考え】

子ども一人ひとりを大事にした教育・保育を行っていく。あたたかい気持ちで子どもに接し、子どもの良さを大切にしていける。そのうえで、自立につながるように支援していく。見守るべきところは見守り子どもが自分で課題を乗り越えていけるようにしていきたい。課題が達成したときには、大いに評価し子どもと共に喜んでいけるようする。

個別支援が必要な子どもについては、職員間で情報共有し共通理解を図り、子どもにとっていい支援ができるようにしていく。

(8)	食育について	A	B	C	D
1	子どもが食についての関心を深めるための取り組み（食育）を適宜行っている	10	19	0	0
2	一人ひとりの子どもの状態に応じ、食べる量を加減するなどの配慮をしている	24	5	0	0
3	無理に偏食を直そうとしたり、残さず食べることを強要しないように配慮している	28	1	0	0
4	先入観（偏食・少食）にとらわれることなく、励まし・声掛けを継続している	25	4	0	0
5	感染症対策（消毒等）をしっかりと行っている	17	10	1	0

### 【意見・感想など】

- ・食べる楽しさや様々な食材、栄養についても楽しく知らせたりしながら子どもたちの食への興味関心を広げていけるようにしたい。
- ・楽しく食事ができるように、たくさんの食材に触れられる家庭との連携を大切にしながら進めている。
- ・苦手なものや普段の食べられる量などを把握し、食事が進められるように気をつけている。
- ・食べ物に興味関心が持てるような絵本や紙芝居を用意したり、食事のマナーをさりげなく気づかせたりしながら楽しく食事ができるようにしている。
- ・誕生会等でも食育に関するエプロンシアターやパネルシアターなど見せてもらった。
- ・無理にならないようにチャレンジしようという子どもの気持ちを大切に声かけするように心掛けている。
- ・「1」の設問に対しては、給食の時間に食材はどのような栄養が入っているか分かりやすく話し紙芝居を使って興味をもてるようにしている。また、給食を作って下さる方と会話ができる機会を設けて感謝の気持ちが育まれるようにもしている。行儀が良くない子に対して積極的に食育に取り組めるように勉強し努力していきたい。
- ・初めは苦手な物が多かった子が、おかわりを楽しみにしはじめて、少しずつ食べられる様になって、今では自分から食べる姿がみられました。声かけをして励ましていく様に心がけています。
- ・無理強いせず、一人一人のペースに寄り添った楽しい食事を心がけたいです。
- ・無理に食べさせることはせず、「あと一口頑張ってみよう」とはげましながら声を掛けていくことを心がけた。

### 【園としての考え】

食育については、各発達段階の食育計画に従って今後も行っていく。

食については、子どもたちが安心して楽しく食べられるようにしていく。一人ひとりの食べる量などを考慮して、無理なく食べられるようにしていく。

(9)	子育て支援・地域交流について	A	B	C	D
1	子育て支援事業（りす組・園庭開放など）は適切に実施している	31	0	0	0
2	基本的な生活習慣を家庭と連携して身に付けるよう心がけている	24	5	0	0
3	外部講師による、教育活動や課外活動は充実している	30	3	0	0
4	地域との連携・交流に努めている。	16	12	2	0
5	小学校への接続を意識した取り組みを行っている	28	1	0	0

### 【意見・感想など】

- ・課外活動に書道が増えて良いと思う。
- ・外部講師による活動は、子どもたちも楽しみにしていて積極的に参加している。
- ・英語教室やサッカー教室など外部講師の方と触れ合う機会がとても充実していると思います。
- ・「3」の外部講師の内容や時間配分は子どもの発達に適した集中できるものとなったと思う。特に絵画教室の田中先生の指導では、先生の手描きの素晴らしい教材を用いてお話して下さり、子どもたちは集中して興味をもって話を聞き、いきいきとした表現で描いている。とても誉めて下さり、どの子も満足そうな笑顔がみられ私自身とても勉強させていただいている。
  
- ・今年度は天王祭や船江祭での鼓隊演奏中止など、地域との交流は少なかったように思います。
- ・天王祭がなくなってしまったのがとても残念に思います。
- ・地域の行事が一つ減ったが、毎年行われるイベントには年長児を中心に参加し交流している。
- ・地域との交流は以前のように難しくなっていると思う。
  
- ・「5」の小学校への接続は、夏に年長児の先生が小学校との架け橋プログラムの研修に参加していただき、取り組み方を勉強していただけてとても良かった。
- ・園が家庭と連携したいと思っても、園にまかせたいと思っている保護者も増えてきている気がする。できるだけ、おたよりや口頭で発信していきたい。

### 【園としての考え】

外部講師による活動は、内容が充実していて子どもたちも意欲的に取り組むことができている。

地域との交流については、今後活動する機会がないか考えていきたい。

小学校との接続については、来年度から「架け橋プログラム」が本格的に始まるので、積極的に取り組んでいきたい。子どもたちが円滑に小学校へ入学していけるように考えていきたい。

(10) 園運営、資質向上について		A	B	C	D
1	報告・連絡・相談は適切に行われている	30	1	0	0
2	働きやすい、相談しやすい職場になっている	26	5	0	0
3	保護者への情報提供（コドモンや紙ベース）は適切に行われている	26	5	0	0
4	職員間の情報共有は適切に行われている	24	7	0	0
5	研修には積極的に参加するなど、自己研鑽に努めている	17	11	1	2

【意見・感想など】

- ・報告や相談がしやすいとても働きやすい雰囲気だと感じています。これからも周りの先生方と声を掛け合いながら子どもたちのために日々の業務に取り組んでいきたいです。
- ・話しやすい先生方ばかりなので、すぐに相談や報告もしやすく、とても良い環境で働かせてもらっています。
- ・先生方同士の情報交換や園長先生、副園長先生への相談・報告がすごく密にできていると思います。話しやすく、良い環境だからこそだと思います。
- ・報告 連絡 相談は、なるべく早くするようにしている。
- ・朝の打ち合わせや会議の内容を口頭や紙面で報告してもらい共有することができている。
- ・担任同士の情報共有にとどまらず、打ち合わせや職員会議において職員間で情報交換できている。
- ・会議の情報もいつもコピーして見せてもらい、参加された先生から教えてもらえるので園の様子を知ることが出来てありがたいです。
- ・話しやすい。一人では保護者への謝罪が心配な時も力になっていただき心強い。
  
- ・毎月学年だよりをコドモンに掲載しているが見ている方が少ないように感じる。コドモンに掲載したことを連絡するか、ホワイトボードに記入するのか、学年だよりの「お願い」のみ園だよりにのせるかなど周知させる工夫が必要なように感じる。
- ・毎月作成しているクラスだよりは目を通して保護者が少ないと感じる。クラスだよりの内容又は提供方法に工夫か見直しが必要だと思う。
  
- ・積極的に研修に参加し、自分自身の保育の向上に努めていきたい。
- ・研修については、ネット研修にも積極的に参加し、保育にまつわる様々な事柄に対して再確認したり、アップデートしたりと自分なりに努力している。また、他の園に実習に行かせていただく機会をいただき、環境設定や保育内容を見て勉強させていただきとても良かった。
- ・オンライン研修では、くり返し学ぶことができるので、これからも積極的に参加をしていきたいです。
- ・積極的に研修に参加し、自分自身の保育の向上に努めていきたい。

### 【園としての考え】

職員会議や朝の打ち合わせに参加していない職員にも情報共有ができています。

保護者との連絡方法としてコドモンを有効に活用している。園からの個別の連絡もすることができ保護者も自由な時間に返信してくれている。ただ、「学年だより」を見てもらえるように方法を考えていきたい。

研修については、園内で教育・保育の公開を行いみんなで考え合えるようにしている。また、他の保育園（ふたみ保育園・船江保育園・保育所きらら館）や幼稚園（小俣幼稚園・明野幼稚園）へ研修にいき外部の良いところも取り入れるようにしている。今後も更に研修を推進していきたい。

### (11)自由記述欄

- ・河崎の「天王祭」がなくなり地域との交流が増々少なくなってしまい残念です。
- ・園長先生は、毎日、色々なクラスにまわって、子どもたちにまんべんなく声をかけて下さり子どもの性格、成長の様子をよく見て下さっています。職員もそのような園長先生の子どもへの対応、働く姿を見てそれぞれの自分の持ち場で力を一生懸命発揮しているのだと思う。職員が明るく笑顔で安心して働き、協力し合える事であたたかい保育ができていると思う。そのおかげで保護者からの苦情もなく良い関係が築けていると考えます。子どもの保育は安全第一が大前提であるので、大きなけがや事故がないように緊張感を持って臨みたい。そして、職員が子どもにとって良いかわりをしているかどうか、職員同志でチェックし、注意できるような関係性でありたい。職員で協力し合ってこれからも保育に真摯に向き合おうと思います。
- ・園務分掌の年中担当の行事は、事前準備に日数が多くかかるものばかりが偏っているように思う。(夕涼み会、もちつき、カーニバル) 年少組、年長組担当の行事とどれか入れ替えるなど検討して頂けるとありがたいです。
- ・テラス遊びの時、くつずれ防止や真冬はとても足が冷たいので牛乳パックなどでくつ下入れなどを作って、くつ下を入れてもらい、それをはいてうわぐつをはくというのは難しいでしょうか？